

日本学術会議 法学委員会「新たな人権の研究」分科会 第3回会合 議事録

- 日時：2024（令和6）年12月27日（金）14：00～17：00
- 会議方式：オンライン（Zoom）
- 出席者：川嶋、大久保、小畑、只野〔委員長〕、三成賢次、南野、愛敬、相澤、江島、大河内、木村、葛野、齊藤、榎原、笹倉、鈴木、中坂、糠塚、林、平田、三成美保、宮本、來田、小澤（敬称略、名簿順）
- 欠席者：國分、建石、平山、松本（敬称略、名簿順）
- 議事録作成者：林

■ 議事概要

はじめに、只野委員長より開会のあいさつがあり、第2回分科会以降に参加した委員3名による自己紹介（所属、専門分野など）があった。次いで、日本学術会議の在り方関する会長談話についての説明・総会での議論紹介がなされた。

1. 報告

（1）笹倉香奈委員「『無実を求める権利』の確立に向けて：Towards establishing the Right to Claim Innocence」

笹倉委員より、資料に基づき上記表題についての報告がなされた。

（2）葛野尋之委員「『誤判を免れる権利』と刑事再審制度改革の基本的視座」

葛野委員より、資料に基づき上記表題についての報告がなされた。

その後、両報告に対する質疑応答及び意見交換が行われた。

2. 今後の分科会の運営について

只野委員長より、今年度中（来年3月）に憲法・刑事法分野の報告を中心とする分科会を開催する予定であることが示された。